

第1分科会B

「主体的・対話的で深い学び」の実現 —学校教育目標を意識した授業改善の試み—



岡山市立岡北中学校

森安史彦

1 はじめに

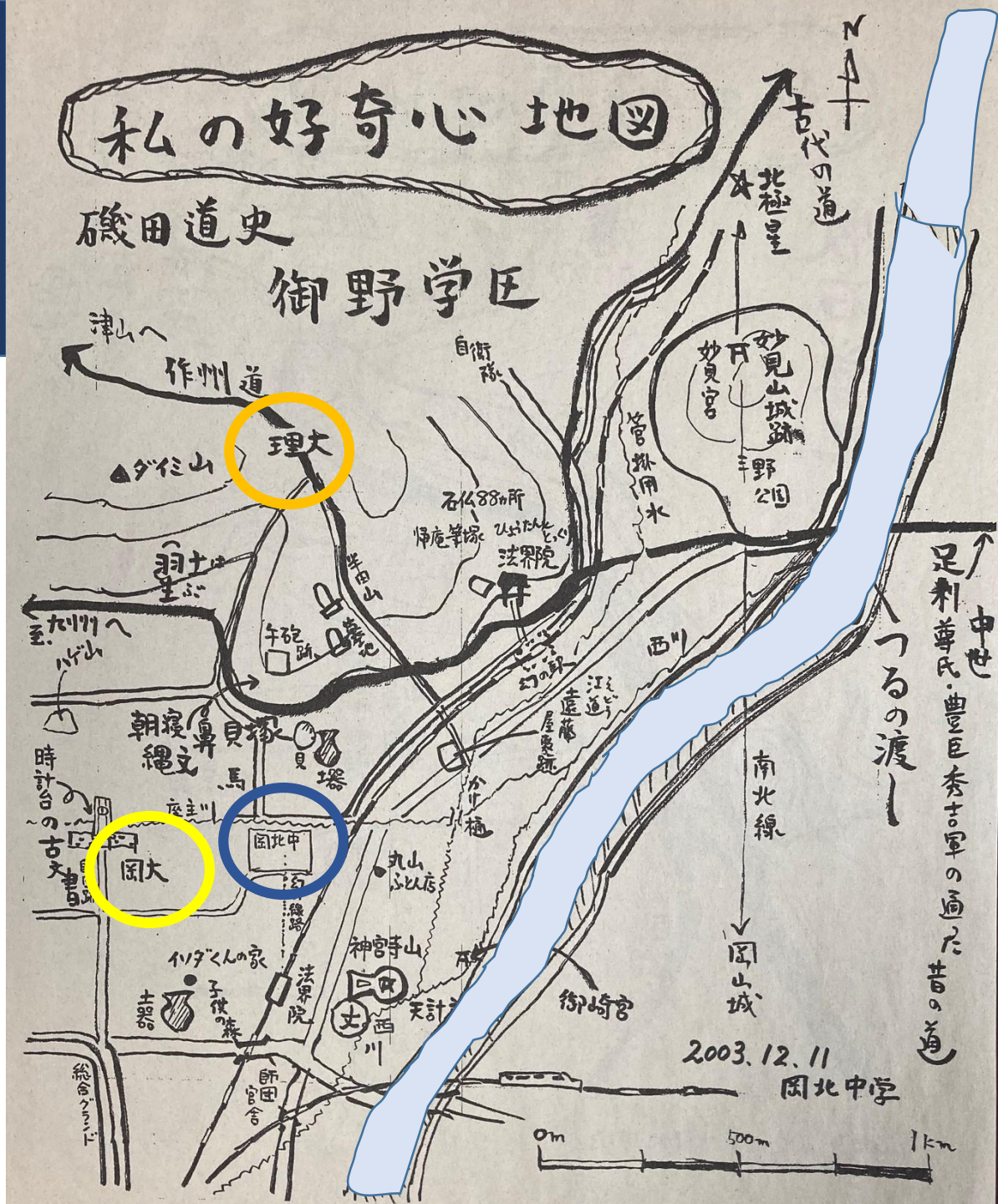
- (1) 本校の概要
- (2) 現状と課題
- (3) 校長としての考え

こうほく

(1) 岡山市立岡北 中学校の概要

位置 岡山駅から北へ2.5km
学区はさらに北へ12km超
(JRの駅が4つ)

| | |
|---------------|---------------|
| 生徒数 | 421 名 |
| 通常学級 | 12 クラス |
| 特別支援学級 | 2 クラス |



(2) 現状と課題 R5全国学力・学習状況調査より

| 4件法で、「あてはまる」の割合 | (36) 1・2年生の時に受けた授業で、 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなど工夫して発表していましたか。 | (40) 学級の生徒との間で 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。 |
|----------------------------------|--|---|
| 本校 | 19.3 | 37.0 |
| 岡山県 | 20.6 | 37.6 |
| (36)～(42)の他項目について、本校と県との差の平均 5.3 | | |
| 全国 | 21.9 | 34.3 |
| (36)～(42)の他項目について、本校と国との差の平均 7.6 | | |

主体的
対話的
な学びの
不足

(第1章総則 第1)

「学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、(中略) 創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、生徒に生きる力を育むことを目指す」

1 教員へのアプローチ

(1)「学校教育目標」との関連付いた授業づくり

(2)質の高い研修の場づくり (特に若手OJT)

(3) 校長としての考え

1 教員へのアプローチ

(1)「学校教育目標」との関連づいた授業づくり

(2)質の高い研修の場づくり（特に若手OJT）

2 生徒へのアプローチ

・主体的・対話的な学びを生み出す場づくり

3 留意点

(1)オーソドックスな取組を丁寧に

(2)複数年を見通し、持続可能な取組に

2 教員へのアプローチ

- (1) 学校組織づくり
- (2) ヴィジョンの共有
- (3) 教員研修体制の整備

令和4年度赴任1年目

- ① 学校評価項目の見直し 6月～8月
- ② 校務分掌組織の見直し 8月～10月
- ③ 学校教育計画の見直し 10月～1月
(学校教育目標、指導の重点、
目指す学校像・生徒像・職員像の見直し)

(1) 学校組織づくり 令和5年度 学校教育目標 指導の重点

学校教育目標

自立に向かって成長し、社会に貢献できる生徒の育成

令和5年度 指導の重点

- (1) 生徒が安心して生活できる場づくり（居場所づくり）
- (2) 生徒が活躍できる場づくりとそのフィードバック（絆づくり）
- (3) 生徒の個性や課題に応じた適切な指導・支援
- (4) 生徒が専門教科の魅力に気付き、「自学」に向かう授業づくり
- (5) 単元や題材のまとまりの中で、学習の見通しと振り返りのある授業づくり
- (6) 身の周りの課題から世界的な課題まで広く社会に目を向けたSDGsの取組

(2) ヴィジョンの共有① 「本校の授業イメージ」の共有

「できた・わかった」

↓ 積み重ね

「できる・わかる」

主体的な学び
の基盤

対話的な学び
の基盤

絆

友人：認める

自信

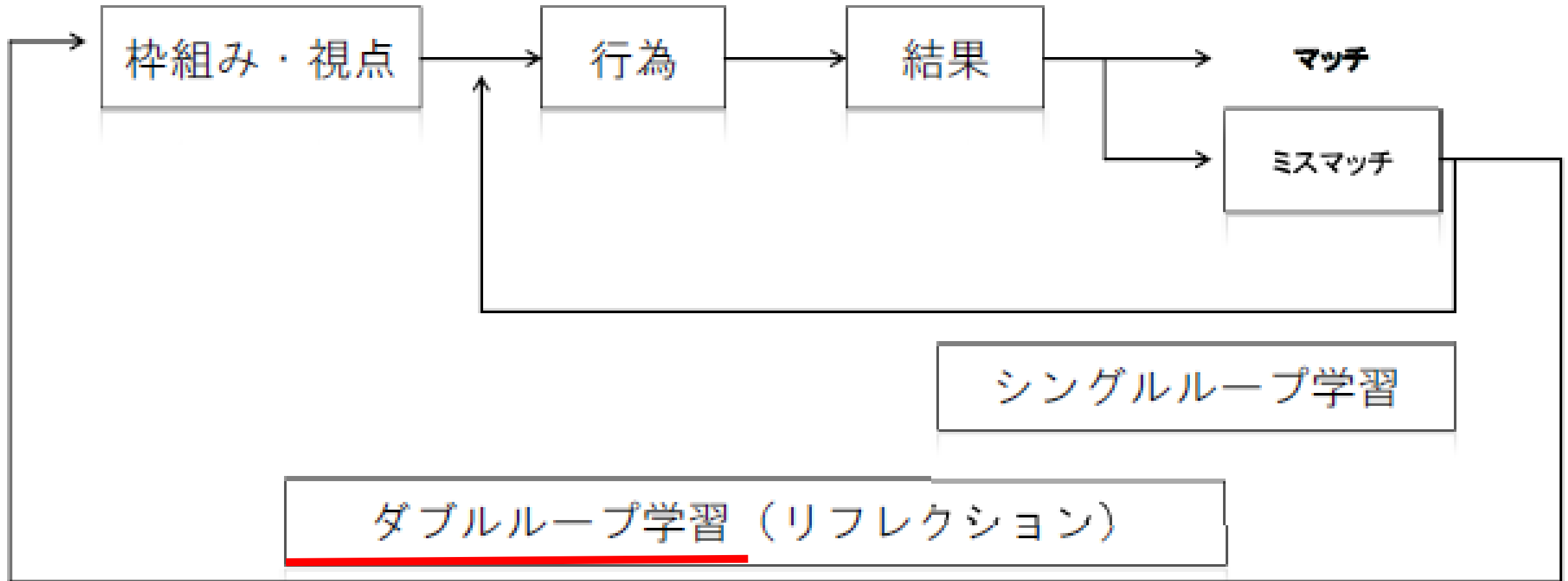
教師：ほめる

安心できる
温かい

居場所

(2) ヴィジョンの共有

② 「授業研究の在り方」の共有 「授業研究会って必要ですか？」



(2) ヴィジョンの共有

② 「授業研究の在り方」の共有 「授業研究会って必要ですか？」

授業研究に求められること＝提案性

(1) 授業研究とは、教師にとっての「挑戦」であり、学校改善のために、何を「提案性」するかが重要となる。

(2) 協議会は、「提案」の「有効性」を検証する場である。授業の技量を品評する場ではない。

(3) 研究授業に対して、全教員が課題意識を共有して関われるための「機会」と「役割」を創る。

→ 研究授業は、教師にとっての創造的な課題解決の場であることを共有する。

(4) 授業公開者を支えるよう、研究主任、教科主任、学年主任、同僚等との連携・協力が重要。

(5) 授業を公開する教師が最も得をし、かつ参観者が主役になるような校内研修が求められる。

(2) ヴィジョンの共有 ② 「授業研究の在り方」の共有

「授業以外の研修も必要じゃないですか？」



中学校の初任者教員

これだけは押さえよう！

～生徒指導 最初の一步～



※本冊子は、http://www.nier.go.jp/shido/shonin_tb.pdf から、直接にダウンロードできます。

平成24年3月

国立教育政策研究所 生徒指導研究センター

1 生徒が自ら進んで学ぶ授業に なっていますか？

生徒が「自ら進んで学ぶ姿勢を育むこと」は、生徒指導の大きな目的の一つであり、教師にはそのための働きかけが求められます。

主な働きかけは、次の2点です。

- (1) 全ての生徒が落ち着いて学べる場をつくる(居場所づくり)
- (2) 全ての生徒が活躍できる機会をつくる(絆づくり)

生徒が主体的に学ぶように働きかけをすることが、「授業の中で生徒指導をする」ということなのです。

教師が日々、(1)と(2)のような働きかけをすることは、生徒の学習意欲を喚起するとともに、「やればできる」という気持ちを高めることにもつながります。

- ◆ 「絆づくり」と「居場所づくり」と「居場所づく

実践例

2 生徒を進んで観ていますか？

(3) 教員研修体制の整備① 若手中心の校内OJT研修

市教委「OJT若手教員育成支援プロジェクト」を充実させる
対象者の2年目・3年目教諭・講師は公開授業
→それぞれの悉皆研修に指導案を持参

<注力した点>

ア 事前検討会を重要視

イ 協議会では、次の授業者につながる課題

ウ 事前検討会・協議会では、フォロー役をする。

エ 公開授業だけの手立ては施さない。

オ 公開授業は6限・協議会は放課後



研修で自信をもって
発表できる！

→真摯な研修意識

→成長の好循環

(3) 教員研修体制の整備 ② 全体研究授業

<注力した点>

- ア OJT同様に事前検討会を重視。
- イ 大学教授に複数年で指導助言を依頼。
- ウ 課題から作成した「授業参観シート」
- エ 「授業参観シート」の項目、「指導の重点」、
各教員の「目標取組シート」をつなぐ。
- オ 協議会では、教員同士が学び合いを体験できる工夫。

- (3) 教員研修体制の整備
② 全体研究授業

「授業参観シート」と「研究部会」

【表現力の育成のために】…本校研究主題の実現

- ア 学習指導案の下線部分の活動は表現力育成に適切であったか
- イ** 生徒が自らの考えを持ち、他者と交流することで考えを広げたり深めたりすることができていたか（個人→グループ→全体→個人）
- ウ 単元構成の中で、振り返りが適切に設定されていたか

つながり部会

【主体的な学びのために】…幼小中統一主題の実現

- エ** 多様な考えや答えが生まれるような学習課題の設定、発問の工夫と
なっていたか
- オ** 評価ABCのそれぞれの生徒に対しての支援が適切であったか
- カ** 生徒が既習事項を活用しながら、学びに向かっていたか

学びたい部会

ABC部会

【R6 校内研究の分科会】

○ ABC部会

オ 評価ABCの生徒への支援が…

○ 学びたい部会

エ 多様な考えや答えが生まれるような学習課題、発問 …

○ つながり部会

イ 生徒が自らの考えを持ち、他者と

【R6 指導の重点】

(3) 生徒の個性や課題に応じた適切な指導・支援

(4) 生徒が学びたくなるような学習課題のある授業や行事

(5) 生徒が自らの考えを持ち、他者との交流で考えを広げ深める授業や行事

(3) 教員研修体制の整備
 (2) 全体研究授業

「指導の重点」と「目標取組シート」

令和6年度 目標取組シート <R6.4.1~R7.3.31>

| | | | |
|---|-------------|-----|--|
| 所属 | 岡山市立 岡北中 学校 | | |
| 職名 | | 氏名 | |
| 所属として設定した組織目標又は重点事項 (個人の目標に関連したもの) | | | |
| <p>「指導の重点」から2つ以上の選択をする。所属する研究部会のテーマに関連した「指導の重点」は必ず入れる (ABC部会→③、学びたい部会→④、つながり部会→⑤)。</p> | | | |
| 目 標 (なぜ、いつまでに、なにを、どうするか) | | 記入日 | |
| 【当初目標】 | | | |
| 【具体的な手立て】 | | | |
| <p>5・6月 期首面接 ・人材育成担当者との面接 ・目標の決定</p> | | | |
| 取組状況 (どの程度進んだか、今後どのように進めるか) | | 記入日 | |
| 【達成状況】 | | | |
| 【今後の課題】 | | | |
| <p>11月 中間確認 ・取組状況の確認</p> | | | |

「所属として設定した組織目標又は重点事項」

「指導の重点」から2つ以上の選択をする。所属する研究部会のテーマに関連した「指導の重点」は必ず入れる。
 (ABC部会→③、
 学びたい部会→④、
 つながり部会→⑤)

3 生徒へのアプローチ

- (1) 冬休み・夏休みの思い出
- (2) 新聞を活用した週末課題
- (3) 自学ノート

(1) 冬休みの思い出・夏休みの思い出

MY WINTER MEMORY

()年()組()番 名前()

写真をはりましょう

| |
|---------------|
| ()月()日()曜日 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

☆自分にしか書けない冬休みの1ページを書いてみよう。

発表だけにせず

- ・発表後にフロアから質問や感想
- ・教員からポジティブなコメント



**主体的・対話的な学びを生み出す
クラスづくりに**



**生徒がファシリテートできる
自治的なクラスに**

(2) 新聞を活用した週末課題

さん太タイムズ

岡山たからもん券案中

岡山たからもん 詳しくはこちら

「ルティーンズ」で世界一の長さを自慢すイベントが10月に開かれました。肉壁のようなチーズの形をした帽子をかぶった人も参加していますね。(APP侍)



さまざまなテーマについて生徒が考えを述べた岡北中の校内弁論大会。10月5日。



岡北中（岡山市北区津島東）の全校生徒が、9月に行われた校内弁論大会のテーマ選びなどに新聞を活用しました。記事を読んで

視野を広げ、自分の考えを分かりやすく表現する方法を学ぶためです。取り組みを紹介します。(黒崎平雄、中川結)

しやひろ ひょうげん りよく たか 視野広げ表現力高める

岡北中が弁論大会に新聞活用



弁論大会は毎年、国語科の授業の一環で行われています。今年も題材選びのため6月に15分間、12クラスに1部ずつ新聞を購読して教卓に設置。生徒は休み時などに読んで、週末には一人一人が関心を持った記事をつまみ、プリント

に貼って感想を書きました。新聞は自分のペースで読め、残るよう感じたのは9年佐々木春佳さん。下町、テレビのニュース番組を持っていた児童虐待事件



記事の切り抜きを貼って感想を書いたプリント。まとめて教室に掲示されました。6月下旬



(3) 自学ノート

| 月 | | 日 (木) | 体調 | (^_^) · (— —) · (*_*) |
|------|----|---|--|-----------------------|
| 時 | 教科 | 準備物・提出物 | 日記 | |
| 1 | 数 | 教科書・コンパス・ノート | 今日は、朝から充実していました。体育では、シュートがたくさん入って嬉しかったです。宿題が多いようなので早めにしたいです。 | |
| 2 | 社 | 教科書・資料集・ノート | | |
| 3 | 国 | 教科書・便覧・ノート | | |
| 4 | 体 | 体操服・体育館シューズ | 今日の予定 | |
| 5 | 理 | 教科書・資料集・ノート | | |
| 6 | 英 | 教科書・ノート・ファイル | | |
| memo | | 自主学習 (国・数・社・ 英 ・理・音・美・保体・技家)・総合・ニュース・その他 ★懇談申し込み切 Sunday Sunday Sunday Sunday Sunday Sunday Sunday ★漢字練習ノート Monday Monday Monday Monday Monday Monday Monday ★数ドリ⑩ Thursday Thursday Thursday Thursday Thursday Thursday Thursday | | |

4 成果と課題

- (1) 学校評価アンケート
- (2) 生徒へのアプローチ
- (3) 教員へのアプローチ

| | | |
|-------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 4件法で、「あてはまる」の割合 | 私は、授業でのグループ学習により、学びが深まっている。 | 私は、授業での「めあて」により、学習の見通しを持つことができる。 |
| R5←R4 全校 | 42.4←45.6 (-3.2) | 24.8←33.9 (-9.1) |
| R5 3年生 ←R4 2年生 | 51.5←44.5 (+7.0) | 27.7←25.5 (+2.2) |

主体的・
対話的
で深い
学びへ

(1) 学校評価アンケート 10月実施 教員の変容

| | | |
|-----------------|------------------------------------|---------------------------|
| 4件法で、「あてはまる」の割合 | 学校では、教育活動の中に子どもの学び合いや話し合い活動を入れている。 | 授業の中で、自分で考え、表現する場を設定している。 |
| R5←R4 全校 | 60.7←48.3 (+12.4) | 60.7←38.7 (+22.0) |

(2) 生徒へのアプローチ 自学ノートの例

| 時 | 教科 | 準備物・提出物 | 日記 |
|---|----|-------------------|--------------------------|
| 1 | 道 | 広島のこと | さいきんは <u>8時くらいからしゆく</u> |
| 2 | 美 | 木のり | <u>だいするようになったからあんき</u> |
| 3 | 社 | ④ 教 1-1 | 13:00 以外 8時から 9時30分の間でやっ |
| 4 | 英 | リテラシーテキスト 教 1-1 | 今日の予定 |
| 5 | 理 | 教 1-1 7-7 1-1 P96 | 6 7 8 9 10 11 12 |

nemo 自主学習 (国・数・社・英・理・音・美・保体・技家)・総合・ニュース・その他

予てモキアンで、8歳の男の子が、性被害にあつたらしく、
 初のお母さんは、男の子の話と録音して、その音声は「ニュース」で
 流れてほしいけれど、お母さんとお母さん、お母さん、お母さん、お母さん、
 ちうえき、4年しかたないでいいにE だんじり

「冬・夏休みの思い出」 → 同様の学習を広げる
生徒が、ファシリテート

主体的・対話的な学び
を生み出す場づくり



【R5】

- (3) 生徒の個性や課題に応じた適切な指導・支援
- (4) 生徒が専門教科の魅力に気付き、「自学」に向かう授業づくり
- (5) 単元や題材のまとまりの中で、学習の見通しと振り返りのある授業づくり

【R6】

- (3) 生徒の個性や課題に応じた適切な指導・支援
- (4) 生徒が学びたくなるような学習課題のある授業や行事
- (5) 生徒が自らの考えを持ち、他者との交流で考えを広げ深める授業や行事

自校の授業課題による「授業参観シート」をアップデート
→「指導の重点」のアップデート

| | R4 | R5 | R6 |
|-----|----------------------------------|------------------------|-------------------|
| 参加者 | 若手5人 当該メンター 研究主任 当該学年主任 | 若手4人 当該メンター 研究主任 | 若手5人 当該メンター |
| 司会 | 当該メンター | 当該メンター | 若手(3年目、 研究副主任) |

・検討会・協議会
での「学び合い」、
リーダーシップの
体験

→主体的・対話
的な学びへ

※当該…公開授業をする教科・学年

(3) 教員へのアプローチ（成果） 質の高い研修の場づくり

・事前検討を大切にし、
「指導案を練る」組織づくり
→ **深い学び**へ

・全ての子（ABC）に
「学びたい」と「つながり」を！
→ **主体的・対話的な学び**へ

| | 目安 | |
|---|-------------|------------------------------|
| ① | | 教科会などで検討 |
| ② | 1週間前 | 事前検討会 |
| ③ | | 起案→教育センター や大学教員へ事前に 送付 |

* オーソドックスな取組を丁寧に

(3) 教員へのアプローチ（課題） さらに「深い学び」へ向けて

- **教科とのつながりを深める**
 - ・ **「見方・考え方」を働かせる授業**
 - ・ **他教科・他分野と結びついた横断的な授業**
 - ・ **小学校や下学年の既習事項を生かした授業**
 - **子どもの姿からの見取りの精度を上げる**
- * 複数年を見通し、持続可能な取組に**

5 おわりに

**令和4・5年度
岡山県校長会特別研究委員
会の皆様をはじめ多くの先生
方、多大なご協力をありがとう
ございました。**